



総数 2頁の1頁
証明書番号 51-83530

校正証明書

依頼者 株式会社 ツクバリカセイキ株式会社
 住所 茨城県つくば市東212番地3
 依頼先 株式会社 ツクバリカセイキ株式会社
 型式番号 305151CD2A2E22A1CB4LQ8 指示計：F-306
 製造番号 センサ：01667304 指示計：07-002
 製造業者 センサ：ROSEMOUNT 指示計：ツクバリカセイキ株式会社

校正項目 気体流量
 校正方法 JQA校正要領書に定める(文書番号 E5146E8)
 校正結果 次頁記載のとおり
 校正年月日 2018年8月30日
 校正実施場所 茨城県北村町北村東部(山崎53)棟の1
 一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター
 個別試験所 計量試験課校正班

校正結果は以上のとおりであることを証明します。

2018年9月3日

茨城県北村町北村東部(山崎53)棟の1
 一般財団法人 日本品質保証機構
 中部試験センター

所長 田中 啓



この証明書は、国内または海外の任意標準にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。
 誤差による承認なしに、この証明書のカラーコピー及び一部のみを複製して使用することを禁じます。
 日本品質保証機構 中部試験センターは、A2LA (American Association for Laboratory Accreditation) によってISO/IEC 17025:2005に基づき校正機関として認定されています。

校正結果

校正圧力値 (Pa)	表示値 (Pa)		誤差不確かさ (Pa)	包含係数 k
	目正	校正		
200.0	199.9	199.7	1.2	2
400.0	399.9	399.6	1.2	2
600.0	599.9	599.6	1.2	2
800.0	799.9	799.7	1.2	2
1000.0	999.8	999.4	1.2	2
1200.0	1199.8	1199.5	1.2	2
1600.0	1599.5	1599.5	1.2	2
2000.0	1999.3	1999.3	1.2	2

誤差不確かさは、上記の包含係数から決定したもので、約95%の信頼水準をもつと推定される範囲を定める。

1. 校正条件

- 校正は標準器との比較測定により実施した。
- 圧力値は差圧であり、空気ガスを圧力媒体とした。
- 校正開始前に予備圧設定を2回行った。
- 測定は目正・校正の仕度各3回行った。
- 昇圧時、降圧時それぞれについて、上記3回の平均値から、表示値を算出した。
- 大気開放時にゼロ点調整を行ってゼロ点を設定を行った。
- 測定後のゼロ点の平均値は、0.2 Paであった。
- 圧力保持時間は30秒とした。
- ライン圧力は、気体絶対圧力で101 kPaであった。
- 電源はAC 100 Vで、2時間以上の過電圧校正を行った。
- 校正はセンサーを垂直に立てた状態で行った。
- 表示値は、圧力導入口の高さを基準レベルとした値である。
- 校正を実施したときの校正室の環境条件

温度：22.4℃～23.3℃

相対湿度：54%～56%

大気圧：1009 hPa

2. 使用した標準器等

高圧用圧力コントローラ

(型式)
T350LP

(製造番号等)
61210

特記事項：校正品の受取後、ゼロ調整を際まで修理員が調整を行わず校正を実施した。

以上